

令和7年度第3回岡山県立倉敷まきび支援学校 学校運営協議会 実施要項

1 目的

学校の抱える諸問題の解決や児童生徒の望ましい成長をより一層支援するため、学校と地域が学校運営の目標/ビジョンを共有し、ともに力を合わせて学校運営に取り組む。

2 日時

令和8年2月24日(火) 9時30分～11時30分

3 場所

岡山県立倉敷まきび支援学校 大会議室

4 構成委員

〈学校運営協議会委員〉

守屋 弘志 (真備船穂商工会会長 箭田 SS(有)守屋石油 社長)・・・会長
中根 征也 (くらしき作陽大学子ども教育学科 教授)
薬師寺 真 (岡山県倉敷児童相談所所長)・・・代理 子ども発達支援課長 平岡保孝
松本 康美 (ハローワーク総社所長)
夏井 将行 (ももぞの学園施設長)
川崎 陽平 (真備地域生活支援センター所長)
門野 辰彦 (真備船穂商工会青年部長 田村モーターサービス代表)
土屋 瞳 (人権学習推進委員会会長 箭田地区まちづくり推進協議会)
藤原 能成 (倉敷市立箭田小学校長)
桑原 正 (倉敷市立真備中学校長)
百本 恵子 (箭田地区まちづくり推進協議会、地域コーディネーター)
小倉 千保子 (本校PTA会長)・・・代理 川口達也 PTA 副会長
金島 一顯 (倉敷まきび支援学校長)・・・副会長

〈学校教職員〉

渡辺 琢也 (事務部長)、 中園 陽子(副校長)
三竿 香織 (小学部教頭)
滝沢 万紀子 (中学部主事・主幹教諭)
大原 広誉 (高等部教頭)
妹尾 美樹 (B 部門教頭)
恩村 雅美 (総括教務・主幹教諭)
長田 恵子・黒川 由美(コーディネーター・指導教諭)
小山 洋司(進路指導主事)、藤井 昂大(進路係)、杉 裕貴紀(生徒指導主事)

5 内 容(進行予定時間) 司会:副校長

9:30~ 開会挨拶(校長)

9:35~ 学校生活アンケート(いじめ問題)について(大原)

9:40~ 学校自己評価について(恩村)

9:55~ 令和8年度学校経営計画について(校長)

10:10~ 各グループに分かれて協議

10:30~ 生徒・保護者の参加

10:45~ 各グループ発表 *各グループ3分程度

10:55~ まとめ

11:15~ 次年度の委員について(中園)

11:25~ 閉会挨拶(運営協議会会長 守屋様)

11:30~ 解散

6 グループ別協議内容(本年度の総括と令和7年度の取組について*まとめを担当教員報告)

地域とともにある学校づくり

就労:職安所長(松本)、企業(守屋、門野)、進路指導係、高教頭、高等部3年生徒(就労)
2人

○地域で働く(自己有用感の高まり 生徒への理解)

地域型実習、地域行事等へのボランティア、校外販売 等

環境・安全:人権(土屋)、地域コーディネーター(百本)、PTA副会長(川口)、事務部長、
中部主事、肢体教頭、主幹教諭、生徒指導主事、中学部3年生徒(地域学習、プランター配
付)B部門児童生徒(え~本の会)

○安全・安心な街に(地域住民と一緒に)

あいさつ運動、避難所体験、環境美化のボランティア活動、スポーツ交流 等

福祉:児相子ども発達支援課長(平岡)、ももどの学園施設長(夏井)真備地域生活支援
センター所長(川崎)、副校長、小教頭、指導教諭、保護者代表まきびカフェ参加者

○特別支援教育のセンター的機能として(子育て保護者支援)

まきびカフェ等

教育:大学教授(中根)、箭田小校長(藤原)真備中校長(桑原)、校長

○交流・協同学習

学校間交流 等

7 令和8年度の委員、学校運営協議会の予定について

第1回:5月20日(水) 第2回:10月13日(火) 第3回:2月25日(木)

8 その他

来年度、委員を受けることが難しい場合は、その旨と引き継がれる方をお知らせください。

岡山県立倉敷まきび支援学校 第3回 学校運営協議会 議事録

開催日：令和8年2月24日(火)
会場：大会議室

開会あいさつ（金島校長）

A中の新聞づくりの取り組みがNIEで最優秀賞を受賞したり、全国障害者スポーツ大会にA高の生徒が出場したり、うれしいニュースが続いた。日々の学習の積み上げが評価された結果であると捉えている。先日は避難所体験を地域の方と実施した。アプリを使って避難所にチェックインしたり、段ボールベッドを組み立てたりと、実際に避難所生活をするようになった場合を想定した取り組みを行うことができた。今回は来年度のことを一緒に考える時間になる。ご協力をお願いしたい。

学校生活アンケート（いじめ問題）について（大原教頭）

いじめ問題に関する報告書に挙げているケースについては、すべて解消されている。成長過程に伴う人間関係のトラブルなど、日常的に起きてはいるが、日々の指導で大きな問題につながってはいない。

学校評価について

保護者、教職員ともに高い評価であったことを報告した。結果をもとに、改善策を提案したり、来年度の主な方向性（チームとして対応すること、つながりを大切に学習の充実を図ること）を確認したりした。

令和8年度学校経営計画について（金島校長）

本校の学校教育目標の達成のための具体的な取り組みについて報告した。主な内容として、系統性や一貫性、教科の指導内容を明確にするという視点を大切にカリキュラム・マネジメント、児童生徒の学びやすさに基づいた学習活動・指導支援の充実、大規模自然災害に備える取り組みなどが挙げられた。

グループ協議

就労班

事業所参観日は参加者の地域を限定して開催し、約60名の参加があった。他の地域からも参加希望の声が上がったが、普段の様子を参観していただくためには現状を維持するのがよいという意見でまとまった。グループ協議に参加した生徒からも就労に関して意識していることなどの話を聞くことができた。引き続き新規企業の開拓、アフターフォローなどにも注力したい。

環境・安全班

活動を精選したことから、無理なく計画された活動を行うことができた。今年度から「ええ～本の会」の皆さんが定期的に来校され、絵本の読み聞かせをしてくださった。グループ協議に参加した児童からは、毎回楽しみにしていることが伝えられた。また、中学部農園芸班の生徒からは活動の様子が伝えられた。地域の方との交流は、生きたコミュニケーションの場として児童生徒のよい学びの場となっている。今後も地域に出て行ったり、地域の方に来ていただいたりしながら交流を継続したい。

福祉班

グループ協議に入っていたいただいた保護者（まきびカフェに参加経験がある）から、生の声を聴くことができた。まきびカフェが保護者の交流の場、雑談の場、横のつながりを作る場として求められていることを改めて確認することができた。今後も当初のコンセプトを大切に計画、開催をしたい。出張相談会は、今年度は高等部の懇談期間にも実施した。保護者にとって役場に出向かなくても相談できるという利点がある。来年度も継続の方向で計画する。

教育班

同じ地区内の学校同士、防災についての教育や備えを情報共有していざというときに連携できるようにしていきたい。

閉会あいさつ（守屋会長）

グループに分かれて有意義な議論ができた。学校園の連携の強化を今後も進めていけたらと思っている。来年度もご協力をお願いしたい。